

体験活動の推進（Ⅱ-2-2-⑤）について

教育委員会報告
令和3年12月24日

－青少年の家の役割と運営－ 大分県立香々地青少年の家

創設の理念と今後の方向性の拠所

- ◆ 青少年の自然環境の中での野外生活や団体宿泊生活
- ◆ 情操や社会性の涵養・健康でたくましい心身の育成
- ◆ 規律・協同・友愛・奉仕等の尊さを体験的に学習
- ◆ 第2の学校・直営の強み（行財政改革推進委員会）

I 施設情報

- 創 立 昭 和 4 8 年 8 月 開 所
- 所在地 豊後高田市香々地5151
- 定 員 324名（宿泊棟）
90名（バンガロー）
- 設備等 プラネタリウム
キャンプ場（海岸）
体育館・研修室
フィールドアスレチック



II 運営方針と強化策

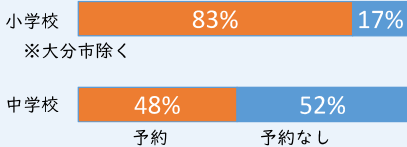
少年自然の家創設の理念を継承しつつ
現代的な課題に対応する教育機関

- ① 地域とともにある施設づくり
・施設運営協議会・豊後高田市教委
- ② 体験活動の教育センター
・体験活動と教育課程の関連・指導者の育成
- ③ 芯の通った組織運営
・改善志向の組織文化・職員の資質向上・働き方改革

III 事業概要

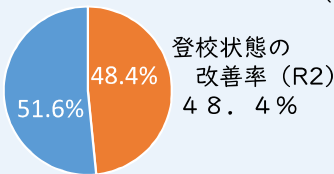
◆ 学校教育との連携強化

- 集団宿泊活動を通じた教育課程への対応
「小学校における2泊3日」のモデル実施
県内の学校予約状況（R3キャンセル前）



集団宿泊活動担当者研修会（2回）
「大分県版宿泊体験活動のてびき（仮称）」作成

- 不登校傾向のある青少年への対応
「サマーキャンプ4泊5日」（フリースクールも参加）
※従来のふれあいキャンプ（1泊2日）は大分大学と連携



- 児童養護施設・サポートステーションへの支援



◆ 県民の体験活動の機会拡充

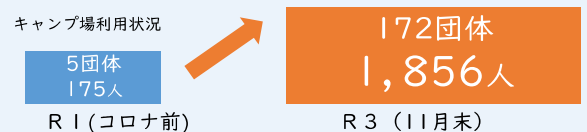
- 郷土の環境を活かした子どもの体験活動
「生き生き自然体験キャンプ」（大分県森林環境税）
「キッズアドベンチャートレイル」（国東半島峯道）



動画で紹介



- 子どもを取り巻く大人への啓発
「ネイチャーファミリーデイズ」
年10回シリーズ 登録69家族
SDGsも啓発
- 事業のパッケージ化（広報戦略）
「海の学校」40イベント 延べ982名参加
「山の学校」28イベント（実施中）
- キャンプ場「CAMP+」の利活用（第3の事業）



令和3年度に始めた主な取り組み

- NBU日本文理大学人間力育成センターとの連携協定
- 「体験の風をおこそう運動」（ゆめ基金）の受託
- インスタグラムの開設（投稿179回）※12月現在
- YouTubeチャンネルの開設（6本）

- 所報の発行（13年ぶり・年4回は開所初）
- 施設運営協議会での熟議
- 施設ボランティア登録制度（11名）
- 4点セットを活用した目標管理（自己評価）
- 不登校長期キャンプ（4泊5日参加49名）

宿泊体験活動の充実に向けた取組 ～豊かな体験活動推進事業～

1 事業実施の背景

(1) 自然体験を多く行った子どもほど、自己肯定感が高くなるという傾向がある



平成26年度「青少年の体験活動等に関する実態調査(独立行政法人青少年教育振興機構)」

(2) 大分県では長期宿泊体験活動の取組が少ない

長期宿泊体験活動の実施状況					
	4泊5日以上	3泊4日	2泊3日	1泊2日	実施なし
大分県	0.0%	0.8%	0.4%	93.6%	5.2%
全国	4.6%	4.4%	31.8%	55.9%	3.3%

(3) 大分県社会教育委員会議による建議～「青少年の体験活動の充実・深化を図る社会教育行政のあり方」(H30.12)

【提言ポイント】

- ・体験活動の有用性を分析したプログラムの開発提供
 - 地域教育・社会教育での体験活動
 - 教育課程を支援する体験活動
- ・体験活動の充実に資する関係者への研修の提供
- ・体験活動の機会拡充に資する教育環境の整備

2 事業の概要

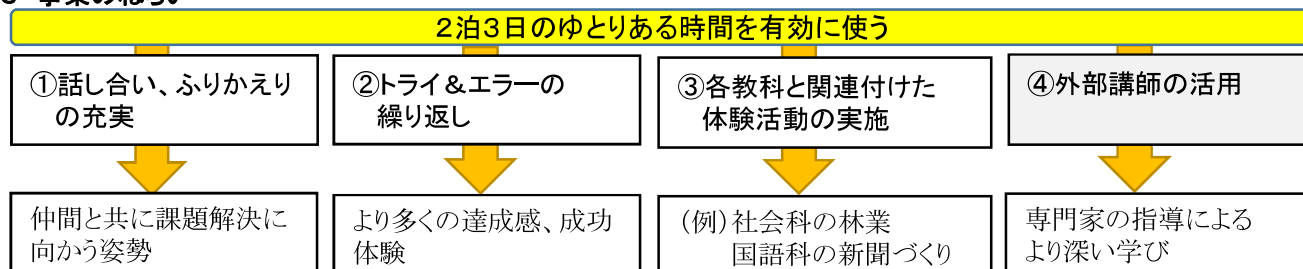
(1) 目的

子どもの自己肯定感を高めて社会を生き抜く力を身につけさせるため、「主体的・対話的で深い学び」に向けた自然体験プログラムを開発し、小学校教育課程における宿泊体験学習の充実を図る。

(2) 取組内容

- (1) 宿泊体験活動プログラム作成(実施校、香々地・九重青少年の家、社会教育課による共同作成)
- (2) 2泊3日の宿泊体験活動の実施
- (3) 教員研修(中堅教員選択研修)の実施 ※実施校のプログラム観察・2泊3日の宿泊体験活動プログラム作成
- (4) 事業報告会の実施

3 事業のねらい



4 実施校数(令和3年度は予定を含む)

令和3年度: 13校 参加児童数: 435名 2泊3日(9校)・1泊2日(4校)
 令和2年度: 9校 参加児童数: 228名 2泊3日(5校)・1泊2日(3校)・日帰り(1校)
 令和元年度: 9校 参加児童数: 165名 全て2泊3日実施

5 成果(児童の自己肯定感の向上、「生きる力」の向上について) IKR評定用紙より ※IKRは「生きる」のローマ字表記(IkiRu)

【自分のことが大好きである】…6段階で自己評価

実施前 平均4.0 → 実施後 平均4.3

【多くの人に好かれている】…6段階で自己評価

実施前 平均3.7 → 実施後 平均4.0

6 今後の取組

「大分県版宿泊体験活動の手引」を作成、県内小学校への配布し、2泊3日の宿泊体験活動の推進を図る